

公立大学法人金沢美術工芸大学情報セキュリティに関する規程

平成 31 年 4 月 1 日

規程第 103 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、公立大学法人金沢美術工芸大学（以下「法人」という。）が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため、法人が実施する情報セキュリティ対策について基本的な事項を定める。

(適用範囲)

第 2 条 この規程は、情報資産を取り扱うすべての者に適用する。

(定義)

第 3 条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 情報セキュリティ 情報資産の機密性（情報の漏えいが防止されている状態をいう。）、完全性（情報の改ざん、破壊等による被害が防止されている状態をいう。）及び可用性（権限のある者に対し、必要なときに情報の利用が可能とされている状態をいう。）が維持されていることをいう。
- (2) 情報セキュリティポリシー この規程及び公立大学法人金沢美術工芸大学情報セキュリティ対策基準（以下「対策基準」という。）をいう。
- (3) 実施手順 情報セキュリティ対策を実施するための具体的な手順をいう。
- (4) 情報資産 法人における教育・研究を行うために生成し、又は収集した情報及び法人の業務を運営するために生成し、又は収集した情報並びにこれらの情報を取り扱う情報機器、情報システム、ネットワーク及び外部記録媒体並びに情報システム及びネットワークの開発及び運用に関する情報をいう。
- (5) 情報機器 パーソナルコンピューター、タブレット型コンピューター、ルーター、NAS、プリンター等の情報の処理、保存、伝達又は出力に用いる機器をいう。
- (6) 外部記録媒体 USB メモリ、CD、DVD、SD カード、ハードディスク等の取り外し可能な記録媒体をいう。
- (7) 教職員等 法人の役員、常勤教職員、非常勤教職員等の雇用形態を問わず、法人に勤務するすべての者をいう。

(教職員等の遵守義務)

第4条 教職員等は、情報セキュリティの重要性について共通の認識を持ち、業務の遂行に当たっては、情報セキュリティポリシー及び実施手順を遵守しなければならない。

(情報セキュリティ対策)

第5条 法人の情報セキュリティを確保し、情報資産を保護するために、以下の情報セキュリティ対策を講ずる。

- (1) 組織体制 法人の情報セキュリティ対策を推進する全学的な組織体制を確立する。
- (2) 情報資産の分類と管理 法人の保有する情報資産を整理・分類し、分類したレベルに応じた情報セキュリティ対策を実施する。
- (3) 安全管理措置 法人で取り扱う情報資産の保護のため、組織的、人的、物理的及び技術的な安全管理措置を講ずる。

(情報セキュリティ監査及び自己点検の実施)

第6条 情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、情報セキュリティ監査及び自己点検を実施するものとする。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 情報セキュリティポリシーは、情報技術の発展、新規情報システムの導入、情報セキュリティポリシーの遵守の程度などを考慮して、必要な改正を行うものとする。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。